

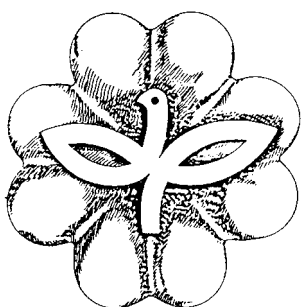
発行：野々市市民生委員児童委員協議会

ののいち 民児協だより

第3号
平成26年6月



ミニ門松づくり



民生委員・児童委員は民生委員法に基づき、各市町村に置かれる民間奉仕者です。委員は都道府県知事の推薦に基づく厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は3年です。



ともに支えあう地域を

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

野々市市になって初めての民生委員・児童委員の全国一斉改選が、昨年12月に行われました。本町、富奥、郷、押野四地区の民生委員児童委員協議会（以下民児協という）で、総勢97名が委員の委嘱を受けました。

最近では全国的に民生委員・児童委員のなり手を捜すのが難しい状況とも聞きますが、この野々市市では、民生委員・児童委員の欠員地域もなく、民児協としては良好な状態で活動を進めております。

東日本大震災から三年が過ぎましたものの、被災地での復興はまだまだとも聞きますし、経済的支援を必要としている方々も決して少なくありません。一日も早い復興を願うものであります。また、依然として核家族化、地域での人間関係の希薄化が進むなかで、児童へのいじめや虐待、障がい者や高齢者に関わること、孤立死や詐欺

被害等々、問題が多様化しています。

こうした状況の中、野々市市では、いま地域福祉の充実に向けた「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」に沿って、市、市社会福祉協議会、諸団体、市民、事業所が協力し活動が進められています。

私たち民生委員・児童委員も「広げ



委嘱状伝達式

よう 地域に根ざした「思いやり」の行動宣言に沿って、日常的に地域での見守りや相談役、そして行政とのパイプ役として、また行政、関係諸機関などの協力者として活動に参加しております。

改選時には、地域によっては委員が交代することもあります。委員の地域での活動においては基本的に変わるものではなく、継続されるものです。そして民生委員・児童委員の地域での活動には、行動宣言にもあるように地域のみなさんとの信頼関係が何より大切です。そのために民児協では、委員の自己研鑽のために会議や研修会を行っております。

地域の皆様方には、民生委員・児童委員に対してより一層のご理解とご協力を頂くなかで、ともに住みやすい地域づくりを進めていきたいと思っております。



歳末慰問

民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。

一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。

一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。

【主任児童委員活動】

全国主任児童委員研修会 (東日本地区)に参加して

主任児童委員 宮前 一夫

全国主任児童委員研修会(東日本地区)が平成25年8月28日・29日の2日間、浜松市内で開催されました。テーマとしては、地域で孤立しがちな子育て家庭への支援や子どもの健全育成の取り組みを中心に、児童委員活



研修会風景

動の一層の推進を図ることでした。

少子化の一方で、児童虐待、いじめや不登校、子どもの貧困など、児童の健全な育ちに関わる課題が顕在化しています。全国民生委員児童委員連合会(以下全民児連という)ではこれまで、全国児童委員活動強化推進方策「広げよう 地域に根ざした 思いやり」の行動宣言等に基づき、子育て家庭の支援や虐待の予防、早期発見等の取り組みの推進を図ってきました。主任児童委員には、多様な課題を抱える親子に対しての支援とともに、民児協内での連携や行政をはじめ関係機関・団体との協働など、より積極的な活動が期待されています。

1日目は、全民児連副会長伊勢氏の挨拶の後、厚生労働省の三浦氏から「児童福祉の動向と児童委員活動」と

題し、子どもの現状と虐待等の早期発見に向けての行政からの説明がありました。

その後、「子ども、子育て家庭をめぐる課題と主任児童委員の活動」と題し、明治学院大学松原氏の講義がありました。ポイントは、子どもの声に耳を傾ける・一人で頑張るのではなく地域の方々との協働の2点があげられました。引き続き、「地域における児童健全育成活動を考える」をテーマにシンポジウムが開催されました。ねらいとして、学校でのいじめや、不登校、ひきこもりなどの社会的にも大きな課題となっている事象への、児童委員・主任児童委員の関わりと支援について、コーディネーターに昭和女子大学高橋氏、シンポジストとして、石井氏(所沢市主任児童委員)、齊藤氏(富山市藤ノ木校下民生委員児童委員協議会会長)、岡部氏(浜松市北浜中学校教諭)の3名で行われました。

ここでも、子どもへの地域協働での取り組みの重要性が再認識されました。

2日目は、分散会形式、「孤立しがちな子育て家庭の支援、児童虐待の早期発見・早期対応について考える」をテーマに、私が参加した分散会では昭

和女子大学高橋氏を講師に、児童虐待については、その早期発見・早期対応が特に重要であると指摘されました。

課題を抱え地域において孤立しがちな子育て家庭の見守りや訪問活動等を通じ、虐待を早期に発見し、対応していくためには、民児協内での情報共有や役割分担、また関係機関との連携による取り組みが大切であること、児童虐待を早期に発見するために日頃から取り組みや、発見後の民児協内および関係機関等との連携による対応について、講義と演習を通して考察・討議をしました。

◆ 児童憲章 前文 ◆

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるためにこの憲章を定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境のなかで育てられる。

新しい民生委員・児童委員が誕生しました。

皆様方の地域を担当する

民生委員・児童委員に気軽に相談下さい

本町地区

会長 前川 一夫



本町1丁目
高橋 吉隆
☎248-1007



本町1丁目
宮城 邦子
☎248-0668



本町1丁目
野口 敏彦
☎248-0221



本町1丁目県営
宮本 一郎
☎294-5286



本町2丁目
種池美智子
☎248-2371



本町2丁目
越野 鈴江
☎248-0069



本町3丁目
三浦 佳子
☎248-2386



本町3丁目
平元 英子
☎246-2303



本町4丁目
若松奈美江
☎294-5896



本町4丁目
粟 朋枝
☎248-2045



本町5丁目
渡瀬フミ工
☎246-2438



本町5丁目
前川 一夫
☎246-3627



本町6丁目
伊藤 久子
☎248-2081



本町6丁目
田圃外茂子
☎248-7375



若松町
村田登志子
☎246-5450



若松町
林 正一
☎201-8432



横宮町
南 俊朗
☎246-1195



高橋町
坂下 生子
☎246-1095



扇が丘
泉 岳夫
☎248-5101



扇が丘
金井 忠一
☎246-0753



住吉町
高尾 常代
☎248-3332



住吉町
中永 謙治
☎294-5224



住吉町
土倉 雪子
☎246-1184



菅原町
川中 恵子
☎246-4651



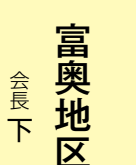
菅原団地
勝村 清和
☎294-0393



菅原団地
鈴木 久子
☎248-2296



白山町
佐藤美智子
☎248-0182



富奥地区
会長下 幸子



中林丸の内
小林 晃洋
☎246-2194



中林
山岡 咲子
☎248-1964



上林1~3丁目
北川美由喜
☎246-1634



上林4~5丁目
清水 久美
☎227-0780



新庄1丁目
林 恵子
☎248-4202



新庄2丁目
高野まり子
☎246-3257



新庄3丁目
谷 信昭
☎248-5743



新庄4丁目
高桑 絹子
☎294-0340



新庄5丁目
高田由美子
☎294-5694



新庄5・6丁目
越田陽志榮
☎248-6253



栗田1丁目
吉本 章男
☎248-8774



栗田2丁目
藤井 好子
☎248-0406



栗田3丁目
村井 公子
☎246-4472



栗田3丁目
濱田啓次郎
☎246-6302



栗田4丁目
桑本恵美子
☎248-3640



栗田6丁目
宮向 博光
☎090-9762-8447



矢作1~2丁目
山本 峰子
☎248-0726



下林2~3丁目
橋本伊久男
☎248-1833



下林1・4丁目
領毛久美代
☎248-2343



藤平田2丁目
米田 貞子
☎246-4085



藤平・藤平田
千田 努
☎248-0736



三納3丁目
中川 銀子
☎294-1017



三納1~2丁目
山田 京子
☎246-6073



矢作3丁目
早川 恵子
☎246-2446



矢作3~4丁目
今市 幾子
☎246-5059

郷地区
会長 東

申明



末松
古源 美富
☎248-0781



清金・清金団地
渡邊美智子
☎248-5374



太平寺4丁目
炭谷 好子
☎294-0332



太平寺3丁目
下 幸子
☎248-4688



太平寺2丁目
大森 克成
☎248-6303



太平寺1丁目
中川 武志
☎246-1649



位川
葭森 啓一
☎248-6002



徳用町・郷町
古田 和美
☎248-3405



堀内新町・三日市新町
東 申明
☎248-0260



田尻町・蓮花寺町
東 京子
☎248-5808



堀内5丁目
高木 由次
☎248-0454



堀内1~4丁目
岡田 實
☎248-1875



稲荷3~4丁目
泉 栄太郎
☎246-1738



稲荷2丁目
東原 正子
☎248-3460



稲荷1丁目
清水 誠治
☎248-4155



押野2丁目
井守伊保子
☎246-5685



押野1丁目
初野 健二
☎248-1750

押野地区
会長 近藤 幸子



柳町
深見 哲男
☎275-5324



長池町
川本 宏
☎246-0508



二日市町
北出外志美
☎246-2383



二日市町
卯野 睦
☎248-1086



三日市町
牛上 信夫
☎248-6262



野代
西川 久栄
☎248-5800



押越2丁目
雪垣 朋子
☎248-7231



押越1丁目
宮浦 文夫
☎248-2302



押野5丁目
加藤 英子
☎248-3567



押野5丁目
近藤 幸子
☎248-2341



押野4丁目
吉岡 潤
☎248-5177



押野6・7丁目
西村 友子
☎248-5455



押野3丁目
杉原登美子
☎248-8491



本町地区
絹川 博
☎246-4275

主任児童委員



あすなろ団地
村西 順子
☎246-3705



あすなろ団地
中田 和子
☎246-1445



あすなろ団地
木村由紀栄
☎248-1766



あやめ
宮本真由美
☎249-1691



御経塚2~5丁目
塚本 春雄
☎248-1739



御経塚1丁目
塚本智佳子
☎248-1503



押野地区
北川ひとみ
☎248-1752



押野地区
宮前 一夫
☎248-0329



郷地区
西川千恵子
☎246-1816



郷地区
安川 正春
☎246-1959



富奥地区
川畑佳代子
☎248-5734



富奥地区
永下 宣之
☎246-0358



富奥地区
林 範子
☎248-6900



本町地区
徳野三知應
☎248-1069

平成二十六年 福祉専門委員会活動

すべての民生委員・児童委員は、四つの福祉専門委員会に分かれ、福祉問題について学び、明朗で健全な地域社会づくりのために活動しています。

高齢者福祉委員会

委員長 宮城 邦子

改選により、高齢者福祉委員会は再任一五人、新任一〇人の計二五人で「高齢者福祉」について、三年間取り組みたいと思います。

県内で住民平均年齢の若い野々市市でも、ひとり暮らし高齢者一七〇〇世帯、高齢者のみ一三〇〇世帯、六五歳以上高齢者五六七世帯（平成二十五年四月一日現在）、高齢化は年々進んでいます。「高齢者が安心して住み続けられる地域」をめざして、高齢者への変化する諸制度、（介護保険制度、介護予防制度、年金制度、介護が必要になった時の各種福祉サービス）の研修会や、高齢者関係施設の訪問を行います。更に、地域で生活する高齢者一人ひとりに寄り添い、地域で包括的な援助が出来ないかなどの、地域包括ケアシステムについて学び、「見守り、相談、支援」の中で自分たちの役割について理解を深め、委員各自の知識の向上をめざし、地域での活動に役

立てていければと思います。

障害者福祉委員会

委員長 宮本 一郎

民生委員・児童委員になり一期三年間が過ぎ、二期目を迎えました。

この度障害者福祉委員会の委員長を受けることとなりました。果たして自分に務まるものなのか、途中で行き詰るのではと不安もあります。それでも委員の皆さんと話し合い、アドバイスや意見も受けながらやっていきたいと思っています。

本年度の活動計画ですが、介護施設の訪問、講師を迎えての研修や、意見交換などの活動をしていきます。その中でも「シェア金沢」（金沢市若松町）は是非予定に入れたと思っています。今年3月にオープンし、障がい者、高齢者の皆さんが一緒に生活出来る街として運営されています。もう一か所障がい者が働いています「美川37（みんなのcafe）」（白山市美川町）にも行きたいと思っています。

す。

自分が住んでいます県営住宅も少子高齢化となり、民生委員・児童委員の関わりも多岐にわたると思われれます。これからは色々な事案に当たるとは思いますが、人は支えたり支えられたりと思いい、取り組んで行きたいと思っています。

児童福祉委員会

委員長 絹川 博

児童憲章の前文に「われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかる（以下略）」、また、児童福祉法の理念に「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ且つ育成されるよう努めなければならない。すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」といわれています。

一方、子育て問題として、親からの虐待や、自由と権利を履き違え、家での規律を守らず、仕事の手伝いもせず好きなことだけをしてほしいという子どもも少なくありません。

そこで委員会では、児童を取り巻く現状、実態と問題点を理解し、その取り組み方について関係機関と連携を図り研修を行いたいと思います。

まずは、野々市市の児童の現状につい

て、勉強します。また、施設訪問等も行ってみたいと思います。その他に、はくさん保育園の子育て支援をこの委員会会の女性が主体となって他の委員会の方にもお願いし、今年も協力していきたいと思っています。

生活福祉委員会

委員長 岡田 實

おだやかに心豊かにすごしたいとは誰もが願うことであります。

私たちを取り巻く生活環境は、常に変化しています。好ましい変化もあれば困ることもおきています。そこで、生活の問題をいろいろな分野でとらえることが大切になってきています。

これまで生活福祉委員会で取り組んできたことを見てもみますと

○研修会の開催

生活保護・生活保護制度について

大気汚染について

地域防災について・救護設備の使い方

食生活と健康について・調理実習

地域のゴミ・ゴミ再生について

○視察研修 施設見学

○他団体との交流協力

今後、民生委員・児童委員として地域や人とのように関われば良いのかを考慮しながら活動を広げていきたいと思っています。

活動あれこれ

民生委員・児童委員は担当地区ごとに住民の立場に立って幅広い支援活動を行っています。民児協独自の活動や、行政及び関係機構との協力活動も行っており、その中からいくつか紹介します。



老人福祉センター椿荘の清掃奉仕(5月11日)



PR活動(5月12日)



民生・児童委員・保護司と語る(5月22日各小中学校主催)



救急予防講習会(6月22日)



野々市市社会福祉大会(7月6日)*



ひとり暮らし高齢者慰労会(7月10日かんの郷)*



お年寄りと子どものフェスティバル(9月22日)*



赤い羽根共同募金(10月1日)*



野々市市障がい者スポーツ交流大会(11月10日)*



ひとり暮らし高齢者宅障子張替(12月1日商工会青年部主催)



歳末たすけあい施設慰問出発式(12月25日)*



定例会風景(毎月1回)

*印は社会福祉協議会主催



新任委員の特集

高齢者世代の見守りが重要

押野地区 吉岡 潤

昨年12月に民生委員・児童委員の委嘱を受け、一年目がスタートしました。これから研修会、定例会に出席して、自分のやるべき任務・責務を果たしたいと思っています。

まずは、自分が担当する地域の現状について、前任者から引き継ぎを受けた事項や、対象の方々との出会いを踏まえ活動すれば良いかなと考えます。

これから気になるのは、野々市市は他の市町と比べれば若い世代が多いと言われていますが、ひとり暮らし世帯、高齢者二人世帯が確実に増えていることです。

誰しも、元気なうちは他人の世話にはなりたいと思わないと思うもの、他人とのつきあいが上手にできれば良いけれども、そうでなければ家にとじこもりがちになるかと思われま

す。昨今言われる孤独死を防ぐためには、隣近所の互助精神が不可欠と思われま

す。町会においても「支え合いマップづくり」に取り組んでおり、対象の方々の交友関係がある程度分かれば、それを広げていくことにより家での閉じこもりを減少させることができるのではないかと思います。

民生委員・児童委員としてだけでなく、町会役員の一員としてもこの問題に取り組んでいきたいと考えています。

何分にも新人です。これからも皆様方のご指導、ご教示をよろしくお願いいたします。

地域と共に

本町地区 田圃 外茂子

この度、民生委員・児童委員を仰せつかることになりました。知識も経験も全くない自分に務まるだろうかと不安と戸惑いばかりのスタートでした。

定例会でいただく資料や関連分野の多さに驚きましたが、諸先輩方の声かけや、事務局のご指導を受けながら、少しずつではあります成長してまいりたいと思っています。

町内を回らせていただきますと、地域福祉推進員さんをはじめ、町内会長さんや役員さん、並びに見回り隊の方々地域に根づいた思いやりの気持ちを感じられ私自身の励みとなります。

また、何より地域に住まわれる高齢者の方々の訪問させていただく中で皆様が笑顔で応えてくださり、こちらの方が暖かい気持ちでいっぱいになります。

人と人との間に生きるからこそ人間と言われますように、今後は地域における「つなぐ」役として微力ではありますが、お手伝いができるよう努力してまいります。

民生委員・児童委員へ

郷地区 深見 哲男

野々市市柳町に移住したのは昭和46年の時、田んぼの中、家が次々と建てられていた。

良かった印象はバスの便。あれから40年余、上下水道が通り、農地区域が消える等、変貌を迎える時がやってきた。これから住民の生活環境はどうなるのだろうか。

そんな折、平成25年の町内会長になり、自主防災が課題となった。興味本位で受けた防災士の講習には防災マップの作成演習があり、町内の建物のことも気になりました。そういえば昭和56年以前の旧基準で建った家も多かつたなあ。

これらが民生委員となったきっかけでした。一方、児童委員に関して高専教員の私は、平成14年「ゆとり教育」に興味があり野々市小PTA会長に。その時のPTA担当が現校長。50周年には時を計ったように実行委員で再会。これは縁があるなと思った次第でした。現在も文部科学省関連の教員であり、総務省には委員として顔を出し、今回新たに厚生労働省にもお世話になることになりました。時間繰りは少し大変ですが、できるかぎり努めたいと思います。

民生委員・児童委員になって思うこと

富奥地区 林 恵子

昨年の12月から、民生委員・児童委員になりました。私の義母は、20年前に金沢から野々市に引っ越しして、ほどなく認知症になり、徘徊やつじつまの合わない言動に、家族は戸惑い怒りながら、あの優しいかった義母の人格が壊れていくのを見ていました。どうしようもなくなくなり、グループホームに入所しましたが、毎日家に帰ると言っては荷物をまとめているのが日課でした。

その義母も7年前には寝たきりになり、あんなに家に帰りたいと願っていた義母の気持ちと思うと、最後は自宅で看取りたいと思いつながら、大好きな自宅で過ごし昨年亡くなりました。

その間、野々市市や地域の方々には大変お世話になり、少しでも地域のお役に立ちたいと思い、民生委員・児童委員をお受けしました。

実際に町内を回ってみると、高齢で、ひとり暮らしでも凛とした気丈な方々に、私の方が学ぶことが多く日々感服しています。

ただ、その方々が住み慣れた地域でその人らしく生きていくには、地域全体での支えが必要で

す。民生委員・児童委員になってからは、町内の行事にも積極的に参加し、交流を持つこと

で自然に地域に溶け込んで行き、義母のように自宅で安心して安全に過ごしていただくように民生委員・児童委員としての役割を果たしていきたいと思

編集後記

民生委員・児童委員は昨年12月に一斉改選され、広報委員会も11名の新しい顔ぶれでスタートしました。不慣れな委員長ですが、各委員に支えられ、ようやく発刊の運びとなりました。さらなる向上を目指しますので皆様方のご意見をお聞かせいただければ幸いです。(葭森)

平成26年6月1日 第3号(通巻26号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169